

コード	202010201
記入日	H25.6.4

課コード	119
課名	建築課
課長名	法村 栄三
担当者	戸村 貴樹

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川地区都市再生整備計画事業
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	202	施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備	項コード	5
基本事業コード	20201	基本事業名称	快適な住宅・住環境の整備	目コード	1
事務事業コード	2020102	事務事業名称	国庫補助事業費（都市計画）	細目コード	920
関連計画		法令・条例規則等	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）		

## 計画（PLAN）

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	町民	(対象指標1)	22,254人口(H24.4.1現在)			
(対象2)	有川地区都市計画区域人口	(対象指標2)	5,080人 (H25.3.31住基人口)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・道路整備 →町道6路線、総延長L=881.4m ・公園整備 →鯨見山公園車道 L=320.0m →鯨見山公園歩道 L=630m →中筋公園 A=1,400㎡ ・有川港緑地広場整備 A=100㎡ ・大川散策道路整備 L=409m ・提案事業 →事後評価調査 1.0式、 →防犯防災マップ作成 1.0式	(平成24年度) →町道有川112-5号線 L=48.4m →町道有川113号線 L=35.3m →町道有川113-7号線 L=62.5m →町道有川23号線 L=54.6m →町道蛤茂串線 L=260.0m	実施工事種類	13工種	46.2%	実施工事種類÷ 全体工事種類	平成27年度
		① (達成率分析)	年度内に完成することができず、翌年度(平成25年度)へ繰り越した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・有川地区は町の北東に位置し、その昔は捕鯨で栄えた歴史がある。有川港は本土との海の玄関口であり、港に近接して中心市街地が形成され、国・県の機関や公益的企業の事業所、医療センター、小売店舗が集積している。また、豊かな自然景観に恵まれ西側には海水浴場、スポーツレクリエーション施設も配されている。 ・長引く経済不況、人口減少、過疎化等の一途により地区の疲弊化に歯止めは難しいが、地区の活性化のために「豊かな自然の恵みに支えられた「環境」と「健康」と「未来」のあるまちづくり」を目標として、老朽化した道路・公園の整備、大川沿い・鯨見山公園園路の整備、防犯防災マップ作成等、地区住民の意見を集約し民意を反映させた事業推進を行う。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析)	地区住民の意見を集約し民意を反映させた事業を推進することにより、安全・便利・快適な生活環境の向上が図られる。			

## 実施（DO）

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 工種	13	6	1	5	5	1	2	4	
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	365,707	113,192	64,525	48,667	48,667	122,990	42,000	87,525	
直接事業費 A	千円	330,707	99,192	57,525	41,667	41,667	115,990	35,000	80,525	
人件費 B	千円	35,000	14,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
内訳	従事職員数	人	5.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	126,100	37,690	23,010	14,680	14,680	42,200	14,000	32,210
	県補助金	千円								
	起債	千円	188,900	58,000	32,800	25,200	25,200	65,200	19,900	45,800
	その他	千円	421	421		421	421			
一般財源	千円	50,286	17,081	8,715	8,366	8,366	15,590	8,100	9,515	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	長引く経済状況の低迷、人口減少、過疎化が進む本地区にとって、住民ワークショップにて幅広く出されたニーズの具現化は、まちの活性化につながるものであり、まちづくりに有効な事業推進は不可欠である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	5カ年継続の事業であり完了しないと全体の効果は見えないが、実施済み道路整備においては住民の満足度も高く、期待以上の効果が現れている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	住民ワークショップ、庁内関係協議において幅広く出された住民ニーズ等は厳しい財政状況を勘案し縮小されたが、必要最小限の計画、事業費となっている。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	最小限の人員、事業費にて最大の効果をあげている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小限の人員、事業費にて最大の効果を発揮できるよう努めており、他の手法には変えられない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	関係機関である長崎県との協議も期間こそ要しているものの事業実施に向け着実に前進している。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	有川地区都市再生整備計画に基づき実施される5カ年の事業であるが、今後も地元住民及び関係機関との連携を密にしながら最小の経費で最大の効果が得られるよう事業内容等の検証に努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●			このまま事業を継続		●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●			このまま事業を継続																														
		●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。